

地域医療の充実に向けた取り組み

熊本県の地域医療の充実に向けて、医療従事者のスキルの底上げが求められています。このような取り組みの一つとして、令和4年10月、熊本大学病院内に「看護職キャリア支援センター」が設置され、「看護職キャリア支援事業」が始まりました。同事業は、熊本県地域医療拠点病院と熊本大学病院間による看護師の相互研修を通じて、双方の看護職が看護実践能力及び、マネジメント能力を向上させ、病院間の連携を強化することで、熊本県の地域医療充実を目指す制度です。今回は、熊本大学病院で研修に励む田中千春さんに話を聞きました。



知識や技能を身に付け、難易度の高い診療の補助業務を行うことで地域医療の充実に貢献したい

私は、山鹿市民医療センターより、2022年10月から1年半の予定で、熊本大学病院で研修を行っています。熊本大学病院では、急性期看護のスキルアップなど多くのことを学んでいます。特に大学病院には、特定看護師の方がおられ、私にとっては大きな学びとなっています。自らのスキルアップをすることにより、医師の負担軽減や患者様への迅速な対応が可能となることを再認識しました。また、さらなるスキルアップのため、特定看護師を目指したいと思っています。

山鹿市は、高齢化が著しく、医療従事者の人手不足などさまざまな課題を抱えています。大学病院で専門的な知識や機能を身に付け、研修終了後には山鹿地域の医療の充実に向けて、タイムリーに患者さんの状態に合わせた適切な処置を行っていきたくと考えています。



田中 千春さん

地域医療の充実を、本県はサポートしています！

本事業では、研修生同士の意見交換や報告の場が設けられており、熊大病院への研修生からは「特定行為研修取得後の活動を直に学べる」、拠点病院への研修生からは「退院時指導の重要性に気づくことができた」等たくさんの学びの声が寄せられています。



熊本県健康福祉部健康局医療政策課
坂梨 隆太郎さん



熊本県健康福祉部
健康局医療政策課
看護班の皆さん